

平成28年度「学校教育関係者を対象とした食品安全に関する研修会」
参加者アンケート集計結果

参加者数	:	55
アンケート回収数	:	55

問1. あなたご自身のことについてお聞かせください。

(1) 性別

回答内容	件数	割合
女性	52	94.5%
男性	3	5.5%
無回答	0	—
計	55	100.0%

(2) 年代

回答内容	件数	割合
20歳代	27	49.1%
30歳代	14	25.5%
40歳代	7	12.7%
50歳代	7	12.7%
60歳代以上	0	0.0%
無回答	0	—
計	55	100.0%

(3) 勤続年数

回答内容	件数	割合
10年以下	42	76.4%
11～20年	7	12.7%
21～30年	3	5.5%
31年以上	3	5.5%
無回答	0	—
計	55	100.0%

問2. 本日の研修会について

(1) 研修会に参加した目的

回答内容	件数	割合
①「食品安全」について理解を深めたかったから	49	96.1%
②「食品安全」について自分の意見や考えを話したかったから	0	0.0%
③他の参加者の意見や考えを聞いたかったから	1	2.0%
④これまでにない取組で面白そうだったから	1	2.0%
⑤その他	0	0.0%
無回答	4	—
計	55	100.0%

(2) どの程度満足できるものでしたか？

回答内容	件数	割合
①満足した	32	60.4%
②どちらかといえば満足した	19	35.8%

③満足できなかった	1	1.9%
④どちらかといえば満足できなかった	1	1.9%
⑤どちらともいえない	0	0.0%
無回答	2	—
計	55	100.0%

③、④、⑤と答えた方に伺います。

満足できなかった点（具体的に）

内容に新しいと感じるものがあまりなかった。

石井先生のご講義で冷蔵庫に入れれば大丈夫？という内容に興味があり参加したのですが、加熱調理の話が多く、冷蔵庫に入れたものがどれくらい菌の増殖が抑えられているか？ 収納の仕方などの話が聞けたら嬉しかったです。

質疑応答の時間が短く、疑問が深まってしまいました。また、不安も新たに生じました。

問3. 本日の研修会での情報提供や進め方などについて

(1) 食品安全委員会からの情報提供

i. 専門的なことを分かりやすく話していた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	18	33.3%
②そう思う	35	64.8%
③あまりそう思わない	1	1.9%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

ii. 話題には科学的根拠が感じられた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	23	42.6%
②そう思う	31	57.4%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

iii. 隠している情報があるように感じられた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	2	3.7%
②そう思う	2	3.7%
③あまりそう思わない	20	37.0%
④そう思わない	29	53.7%
⑤わからない	1	1.9%
無回答	1	—
計	55	100.0%

iv. 村田委員「誰もが食べてる化学物質」は理解できた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	16	30.2%
②そう思う	36	67.9%
③あまりそう思わない	1	1.9%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	2	—
計	55	100.0%

v. 吉田委員「農薬の評価について」は理解できた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	13	24.5%
②そう思う	38	71.7%
③あまりそう思わない	2	3.8%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	2	—
計	55	100.0%

vi. 石井委員「冷蔵庫に入れれば大丈夫？」は理解できた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	18	34.0%
②そう思う	35	66.0%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	2	—
計	55	100.0%

vii. 食品安全委員会が発信する情報は信頼できると感じた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	16	30.2%
②そう思う	37	69.8%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	2	—
計	55	100.0%

viii. 本日の研修会で食品安全について、自分の理解が進んだと思う

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	14	25.9%
②そう思う	39	72.2%
③あまりそう思わない	1	1.9%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

「そう思わない」「思わない」「わからない」（iiiについては「大変そう思う」「そう思う」）の理由

農薬の問題について、正しい情報が世間に伝わっていないと感じた。
専門的な知識がないとわかりにくいような内容があった。
具体的な数値を知りたかった。（あまり具体性がなく、一般論のみだったので、少しわかりづらかった。）他の人に分かりやすく伝えるにはどのように言えば良いのかと思った。
(iv)個人的に難しい内容だったので（化学式、化学反応）、もう少しゆっくりくわしく解説していただけるとありがたいです、すみません。
農薬は使わない方向 視点ではなく、使っている農薬の安全性の確認をしている？ 安全に使用するには？

(2) 会の進め方・全体

i. 意見交換の進め方は良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	9	17.6%
②そう思う	41	80.4%
③あまりそう思わない	1	2.0%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	4	—
計	55	100.0%

ii. 講演者や司会者は質問にきちんと対応していた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	20	37.0%
②そう思う	34	63.0%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

iii. 村田委員の話（講義・質疑応答）はわかりやすかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	20	37.0%
②そう思う	33	61.1%
③あまりそう思わない	1	1.9%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

iv. 吉田委員の話（講義・質疑応答）はわかりやすかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	18	33.3%
②そう思う	35	64.8%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	1	1.9%
無回答	1	—
計	55	100.0%

v. 石井委員の話（講義・質疑応答）はわかりやすかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	23	42.6%
②そう思う	30	55.6%
③あまりそう思わない	1	1.9%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

vi. 発言の機会は十分に確保されていた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	15	27.8%
②そう思う	36	66.7%
③あまりそう思わない	3	5.6%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

vii. 意見交換では参加者の意見を聞く姿勢が感じられた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	19	35.2%
②そう思う	34	63.0%
③あまりそう思わない	1	1.9%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

viii. 研修会の開催手続き（申込等）は適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	19	35.2%
②そう思う	35	64.8%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

ix. 会場は適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	21	38.9%
②そう思う	32	59.3%
③あまりそう思わない	1	1.9%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

x. 時間配分は適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	19	35.2%
②そう思う	31	57.4%
③あまりそう思わない	4	7.4%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

xi. 研修時間の長さは適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	20	37.0%
②そう思う	33	61.1%
③あまりそう思わない	1	1.9%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

xii. 開催時期は適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	25	46.3%
②そう思う	29	53.7%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
⑤わからない	0	0.0%
無回答	1	—
計	55	100.0%

「そう思わない」「思わない」「わからない」の理由

午後スケジュールが盛りだくさんすぎる印象です。各講義の間5分でよいので、トイレ休憩の時間を設けて頂けるといいなと感じました。

グループワークの時間が短かった。

テーマを詰め過ぎて、もっと聞きたかったと思うものも多かったから。

はじめてのメンバーなので意見が出にくいことがある。

問4. 食品安全の主な情報入手元（複数回答）

回答内容	件数	割合
マスメディア（新聞・テレビ）	33	23.9%
書籍	24	17.4%
大学、研究機関（学術論文）	5	3.6%
栄養士会	18	13.0%
政府（食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省等）	22	15.9%
自治体（東京都等）	31	22.5%
食品関連企業	5	3.6%
家庭（母親等）	0	0.0%
無回答	2	—
計	140	100.0%

問5. 食品安全について児童・生徒や保護者からよく聞かれる質問

食中毒の対策について 産地
食材の産地情報
あまり聞かれませんが、産地や放射能について聞かれることがあります。
放射能について 食品添加物について
・外国産のものの安全性について ・農薬について ・牛乳の放射能について ・アレルギーについて ・中国産の食材について ・牛乳を毎日飲むことについて
放射線について食品の安全性はどうか。
以前は放射性物質関連の質問がありましたが、最近はありません。
福島県産の食品は本当に安全なのか。アレルギー表示は信頼していいのだろうか。
遺伝子組換え食品について
外国産（特に中国産）は使っているのか。使っている場合は安全は保たれているのか。
最近はありませんが、東日本大震災の時には放射能のことなど問い合わせがありました。
賞味期限と消費期限のちがいについて
マーガリンの使用をやめてほしい（トランス脂肪酸） 参考になる話が聞けて良かったです。
「化学物質」「農薬」に対してネガティブで「有機」「無農薬」に対して安心感を持っている方がほとんどだと感じています。
放射能による食品の安全性（特に牛乳）食材の産地（福島産、中国産をしないか等）
輸入食品の使用について 食品添加物について

給食食材の産地
「牛乳は飲ませるのは良くないと考えているので飲ませません」という家庭があります。
放射性物質検査について（保護者より） なぜ白衣を着なくてはいけないのか（児童より）
米、干ししいたけ等の産地の確認。
食中毒予防の仕方について
福島県産の野菜については、放射線量が高いものは市場には出まわらないとのことだが、本当のところ、検査で不適になるものがどのくらいあるか。
食品の放射能汚染について（産地の安全性について）
食品の異物混入について 給食当番について
放射能について
放射能やトランス脂肪酸、産地について
遺伝子組換え食品の安全性の答え方について教えていただきたい。 コーンスターチから作った果糖などの影響、見抜き方についてなど。
コンビニ等で販売されているお惣菜に含まれる添加物について
放射能 農薬の危険性 輸入品への拒否反応
放射性物質への不安
放射能汚染について（牛乳、米、魚が多い） 外国産の食材の安全性
放射能汚染について 成長ホルモン剤、抗生物質についての質問もありました。
学校給食でも野菜を次亜塩素酸で消毒しているのですかという質問を受けました。
放射能について
農薬の安全性、危険性 食品添加物の安全性、危険性
放射能の安全性について
放射能の安全性 食品添加物の安全性

問6. 本日の意見交換会について、ご意見やご感想をお書き下さい

それぞれの専門的な立場からとてもくわしいお話が聞けて良い機会でした。

様々な情報を得ることができました。グループワークの進め方も学ぶことができました。様々な意見が聞けてよかったです。

とても信頼できる情報を得ることができました。食情報に関して、正しい情報をなかなか聞けないのでありがたかったです。

本日は大変専門的な内容を、データに基づいて説明して頂き、ありがとうございました。

最後の石井先生のお話にもありましたが、農薬、化学物質の話自分をするには、まだ難しいです。でも、今回の研修で理解が深まりました。ありがとうございました。

調理における衛生管理については学校給食衛生管理基準と大量調理施設衛生管理基準との違いも含めてお話があると良いと思いました。

農薬や添加物は使わない方が安全だと思っていましたが、必ずしもそうではないとわかりました。学校栄養士の研修ではなかなかないテーマだったので勉強になりました。

大変勉強になりました。来て良かったです。ランチマップも参考になりました、ありがとうございました。

国の専門機関の方からお話が聞ける有意義な研修だったと思います。今後このような研修があればまた参加したいです。

テレビなどから情報を得て、気にはなっていたけど…。といった事に関して、正しい知識を得ることができました。ありがとうございました。赤坂ランチマップありがたかったです。行ってみました！

本日はありがとうございました。とてもよい勉強が出来ました。今後も、このような研修会の開催をお願いいたします。

貴重な内容盛りだくさんでしたが、時間にゆとりがなかったように思います。すみません。

安心、安全の学校給食を提供する上で知識不足を少しでも改善できたらと思い参加しました。このような研修は、今後も続けていただきたいです。特に新しい情報は、正確な情報として専門の方から伺える話は有難いです。

貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。グループワークの進め方が少し分かりづらくて困りました。

輸入食品について誤った認識があることを知りました。今日の講話を参考に保護者、生徒へも伝えていきたいと思います。

内閣府主催ということで、普段の研修会では聴くことができない内容のものを学ぶことができ、とても勉強になりました。

大変勉強になりました。ありがとうございました。

最後のテーマはよく保護者に尋ねられる部分だったので、詳しく聞くことができて良かった。

身近なことから実際聞いてみないと分からない国や都の取り組みまで聞けたので、大変勉強になりました。

農業について、もう少し詳しく知りたかったです。食品1つを例（りんご）にあげてどのくらいなら食べてもよいか、皮ごと食べても大丈夫なのか。

貴重なお話をありがとうございました

とても貴重な機会が得られました。今後、保護者の方へ発信していきたいです。

デルファイ法は初めて取り組むには難しい。せめて各班になげっぱなしにするのではなく、もう少しリーダー、書記、発表者を決めてほしい。というか、グループワークはもっと簡単にしてほしい。

加工肉の添加物についての問題が社会的にとりあげられたこともあったので、それについてのお話（安全性について等）も村田先生に伺えたら、より良かったと思う。

村田先生の食品学のお話はたいへん好きな分野でもあるので、楽しく聞けました。もっとゆっくりおうかがいしたかったです。農業についても今まできちんと勉強できる機会がなかったので、良かったです。グループワークはもう少し日頃それぞれが困っている内容、知りたい内容を吸い上げていただき、それに対して講師の先生からアドバイスをいただくと良かったかなと感じました。昼食時間を早くから設定されていて、嬉しかったです。ありがとうございました。

情報が多かったのですが、わかりやすかったです。

グループワークの時間を設けていただき、他校での食に関する取組や放送や全体朝礼を使用して伝える等、情報共有の場になり、とても良い機会になりました。

資料がオールカラーだったので、内閣府はお金があるんだなあと思いました。大変勉強になった一日でした。ありがとうございました。

「食品の安全性」というテーマで様々な面からご講演をいただき、大変勉強になりました。自分で発信するには理解もまだ不十分かと思いますが、これから徐々に正しい情報を分かりやすく伝えていきたいです。

質問をする時間がもう少しあるとありがたかったです。グループワークはまとめ方を（最終的な）もう少し違った（もう少ししぼっても）方がよいかと思いました。

大変勉強になりました。

問7. 今後同様な研修会を知り合いなどに紹介したいと思いますか

回答内容	件数	割合
思う	46	86.8%
思わない	0	0.0%
どちらともいえない	7	13.2%
無回答	2	—
計	55	100.0%

問8. 内閣府食品安全委員会について

①メールマガジンを配信していることを知っている

回答内容	件数	割合
はい	5	9.1%
いいえ	50	90.9%
無回答	0	—
計	55	100.0%

②（①で「はい」と回答した人に）メールマガジン会員ですか

回答内容	件数	割合
はい	2	6.9%
いいえ	27	93.1%
無回答	26	—
計	55	100.0%

③リスク評価機関である食品安全委員会に期待すること

<p>今後も国民の健康を第一に考えて、業務を行っていただきたいです。</p>
<p>貴重なお話ありがとうございました。農薬についてですが、農家の方にどの程度説明しているのか気になりました。</p>
<p>Facebookやブログの更新は大変だと思いますが、情報がたくさんある現在に求められていることだと思うので続けて、広く情報発信をしていただけると幸いです。</p>
<p>一般の人が知らないような物質まで、細かく調べて評価されていてすごい仕事だなあと感心しています。時折、物質名やなんとなくのキーワードで検索をすることもありますが、なかなか思った資料にいき着かないことがあります。たくさんあって難しいと思うのですが、ホームページ上の資料がさがしやすくなると助かるなあとと思います。</p>
<p>・学校給食現場についても客観的、科学的にリスク評価をしていただき、自治体以下広くご指導いただけると有難いです。</p>
<p>様々な機関と協力して一般家庭への食品安全に関する知識の普及</p>
<p>・各委員の講義がとても分かりやすくよかった。更に講義を受けたいと思う。世の中で話題になっているテーマについて、真実を知ることができたように思う。例えば、コゲのリスク、農薬のリスクなど、本当のコトを知りたいと思う。食中毒予防は日頃から情報は多い方だが、一方でコゲや農薬、化学物質は専門的で情報が難しい。今日は分かりやすかった。 ・低農薬を利用推進する予算がついた事業も行っている為、今後の事業継続もふまえ、正しい知識を知りたかったので、本日は各委員の内容はよかった。 ・安全の線引きは難しいと思う。</p>
<p>食品検査は困難な状況かと思いますが、国の予算で安心安全の食品を子どもたちに提供できるよう期待します。</p>

安全が科学的に証明されていても、本やメディアの影響で使いづらい食材や産地があります。安心して使える食材の情報発信をより強化していただけると良いと思います。

これからも食品の安全について調べて配信していただきたいと思います。

食品安全についての情報がなかなか届かない事があるので、もっとアピールされてもいいと思います。
HPなど、知らない人はまだいますので。
今日はありがとうございました。

今回の研修を定期的で開催して情報を提供してほしい。

食の安全に関する正確な情報をちくいち発信していただけると、その都度正確な情報を保護者や生徒に伝えられるので、お願いしたいです。

お忙しい中、貴重なお話をたくさん聞かせていただき、ありがとうございました。

一般消費者の考え方を知りたい。最近の冷凍事情など。

食品に関する情報はあふれており、インパクトの強いものや自分に都合のよい情報ばかりが出回っているように感じています。今日のように、「なぜ」安全なのか、などといった根拠のある情報を得て、信頼できる情報を栄養士として発信していきたいです。

何回もうかがわないと（理解を深めない）安全性を伝えていくのは難しいと思いました。

食品安全委員会での取組を今回のような研修会を通して伝えていただけると最新情報の入手につながると思いました。

食品に絶対的安全はないということと食品安全の考え方を多くの人に広めてほしい。

検疫官の増員を政府に要望してほしい
国外から輸入される食品（健康食品など）の安全性について

農薬や添加物などの摂取量について、例えば一般的な食物の食事ではどれくらい摂取しているといった情報もあれば（できれば料理のことも）より皆が理解しやすいのではないかと思います。

食品添加物についても詳しく知りたいです。